

特集

このまちを動かす

# 学生の挑戦



**本**市には、山形大学工学部、米沢栄養大学、米沢女子短期大学の3つの高等教育機関が立地しています。人口規模が85,000人ほどの都市に3つの大学が立地しているのは全国でも少なく、合計約4,000人もの学生・教職員が生活する学園都市を形成しています。

そのような中、本市では近年、地域活動を行う学生団体が相次いで立ち上がりました。授業や研究の枠を越え、学生自らが地域に入り、まつりなどを企画・運営しています。さらに、学生たちは地域の諸課題にも

目を向け始めており、平成27年度に行った調査でも、約半数の学生が地域との交流が図られていると回答しています（学園都市推進協議会によるアンケートより）。

学生たちが地域で活発に活動するようになった背景には何かあるのでしょうか。そして、学生たちは米沢の今についてどのように感じ、行動を始めたのでしょうか。市民と学生への取材をとoshi、学園都市・米沢のこれからについて考えます。

## 市内で活動を始めた主な学生団体

平成21年10月	アットストリート
平成24年6月	Accel Link 米沢
平成26年春	NPO 法人ドットジェイピー
※本市で議員インターンシップを開始した年	
平成28年4月	学習支援団体まなびす



山形大学工学部



米沢栄養大学



米沢女子短期大学



①



③



②

【写真解説】①美味しい食事に笑顔も弾む。②豚汁には隠し味のニンニクを。③地元食材を使った料理がずらりと並んだ。

# 01 Education

## 学生にまちを伝えよう

市内に住むたくさんの学生たち。彼らのほとんどは、米沢について何も知らずにやってきます。そんな彼らがまちに興味を抱くには、まずはここがどんな所であるかを知ってもらうことが大切です。米沢の魅力伝える取組を続ける人に話を聞きました。

6月の夕暮れ、南原コミュニケーションセンターに米沢栄養大学の学生8人を乗せたタクシーが到着しました。彼女たちは、「セカンドホーム事業」で南原地区内に住む3家族と交流する学生たち。玄関では3家族が総出で学生を出迎えました。

この受入れを中心となり準備したのが四柳久美子さんです。「セカンドホームとは、夕食などを共にしながら歓談する市の交流事業です。私は学生と接するきっかけになればと思います。3年前に自宅で受入れを始めました。昨年からは近所の家庭にも声掛けし、3家族で受入れをするようになったと言います。

会場には各家庭から持ち寄った料理がずらりと並びました。学生たちは山菜の天ぷらやうなぎご飯に興味津々、会話にも自然と花が咲きます。四柳さんは話します。「セカンドホームは、学生と私たちが同じ時間を共有できる貴重な体験です。子どもたちも、年齢が近い学生さんを身近に感じる事ができる良い機会になる。学生にとっても知らないまちに来て地元の人と楽しく食事した経験は、今後の学生生活に活きると思います」。実際、四柳さんは3年前にこの

事業で知り合った学生と、今でも食事やメールのやり取りを続けているそうです。

最後に四柳さんが学生たちに伝えていることを聞きました。「歴史や食文化など伝えたいことはたくさんありますが、一番はこの地域に住む人です。地元住民との出会いは、学生がまちに興味を持つきっかけになると思います。地方都市でこんなに多くの学生がいるまち是全国でも稀ですし、ここで出会わないのはもったいない。学生に接し、米沢のことをどんどん話しましょう。まちの魅力を学生に伝えることで、私もこのまちの良さを改めて実感しています」。

こんな事業も行っていきます！

### 米沢のよさを知るバスツアー

米沢に住み始めた学生にこのまちの魅力を知ってほしいとして、5月に開催されたバスツアー。松が岬公園や小野川温泉の散策、お鷹ぼっぼの絵付け、そば打ちを行い、米沢の魅力を学生たちに実感してもらいました。



### TobCS (さあ米沢で大学生になろう！)

TobCSとは、To become College Student (in Yonezawa) の略。経済的な問題などを抱えた県外(市外)の優秀な学生を募り、シェアハウスへの入居や優先的インターンシップ企業の紹介など、住居支援・就労支援等を行います。



よつやなぎ くみ こ  
四柳 久美子 さん  
(大字笹野)

【Profile】現在、夫と大学生の長男を除く子ども2人と暮らしている。様々な言語を学びながら、自宅で留学生のホームステイも毎年受け入れている。

University Student Interview

学生と地域の  
つながりを加  
速させよう



Accel Link 米沢  
向井 碩哉 さん

9/23・24の  
秋まつりにみ  
んなで来てね

私たち「Accel Link (アクセルリンク)」は、秋まつりや雪灯籠まつり、地域の祭りなどで「棒杭市」「伝統市」「昔遊び」ブースを設け、米沢の伝統を体験できる企画を行っています。現在104人のメンバーがいて、様々なイベントに参加しています。

米沢は3つの大学を有し、学生が多いまちです。私も進学がきっかけで米沢に住み、米沢の歴史と地域イベントの多様さを実感しました。これらイベントを通して、多くの学生と地域のつながり(リンク)を加速(アクセル)させたいという思いが私たちの活動の原点です。外を歩けば知り合いに会えるような、学生が地元の人と気軽に交流できるような、そんなまちづくりがしたいです。

今年の秋まつりでは、福島県の伝統品紹介も企画。毎年異なる面白い企画を楽しみに来てください。

学生と商店街  
を繋ぎ、第二  
の故郷に



アットストリート  
藤田 峻弘 さん

戎市の詳細は  
p12を見てく  
ださい

今年9年目を迎える「アットストリート」。授業の一環で商店街と繋がりを持ち始めたのがきっかけで、商店街の活性化のため、共に活動しています。主な活動は新しく米沢に来た学生に食を紹介する「よねディナー」の開催や、あら町商店街の「ドラマチック戎市」の運営などです。6月の戎市では、事務用イスを使ったレース「イスー1グランプリ」が大盛況。今秋の戎市もサンバなど楽しい企画がありますので、ぜひ足を運んでください。

これらの活動を通して、私たちは「学生がまたここに帰って来れる第二の故郷」を作りたいと思っています。私は商店街を普段から活用していますが、知られていない良さがたくさんあります。今後も学生と商店街を繋げて多くの若者に米沢の楽しさを体感してもらいたいです。

全ての子ども  
に学習機会を  
提供したい



学習支援団体まなびす  
平井 達朗 さん

受講希望者は  
080-3713-  
4169まで

私たちは、全ての子どもたちに学習の機会を提供し社会的な格差を解決したいと思い、昨年「まなびす」を設立しました。小中高生を対象に毎週日曜日、南部コミュニティセンターにおいて無料で勉強を教えています。心掛けていることは塾とは違うアットホームな居場所を作ること。家庭環境に事情を抱える子もいますので、何でも相談できる心の拠り所となる空間を目指しています。

現在は60人程の学生が所属しており、夏休みには「イングリッシュ・キャンプ」や「寺子屋塾」などの活動にも参加し、学習支援をしました。

今後はさらに活動場所を広げ、1人でも多くの子どもたちに学習の機会を提供したいと考えています。みんなの笑顔が私たちの誇りです。私たちが全力でバックアップしますので、一緒に勉強してみませんか？

02 Action

学生がまちに  
飛び出した

米沢のことを知り始めた学生たちの中には、まちづくりや社会問題に関心を持ち、学生団体を設立し活動している人もいます。市内のあちこちで見かけるようになった学生たち。日々活動する3団体に、どのような取組をしているのか聞いてみました。

【写真解説】①まなびすも教えるイングリッシュ・キャンプ。②④ Accel Link が主に運営する小野川ほたるまつりと棒杭市。③アットストリートと商店街で作上げたドラマチック戎市。





まなびすの学生たちが宿題相談を行う「ナセBAの寺子屋」

夏真っ盛りの8月上旬、ナセBAを訪れると特別企画「ナセBAで過ごす夏休み」に参加する多くの小中学生で賑わっていました。このイベントは学生が中心となり、今年初めて開催されたものです。企画に携わった高木彩絵さんに話を聞きました。「今年から『まちなかBASE』がナセBAのはず向かいにできたことをきっかけに、子どもたちが夏休みに中心市街地を訪れる企画ができないか考えました。そこで、各団体の得意分野を活かした『ナセBAの

寺子屋』や『ナセBAのえんがわ』を企画。さらに、団体の枠を超えて『水鉄砲バトル』も行いました」。イベントは夏休み期間を通したものになり、多くの子どもたちで賑わいました。高木さんは言います。「米沢には様々な学生団体があります。一緒に活動することはありませんでした。『まちなかBASE』ができてからは各団体の代表などで組織する自治会も結成され、互いの活動や方向性を理解しながら、今後のまちづくりを考えるようになりました」。

## 03 Creation

# 新しいまちを 学生が創る

学生たちの活動の幅は次第に広がり、今年、市中心部に地域活動を行う学生の拠点「まちなかBASE」ができました。そこでは、新たなまちづくりの動きも始まっています。学生たちは米沢の今にどのような想いを抱き、歩んでいるのでしょうか。



アットストリートが企画した将棋や囲碁を楽しむ「ナセBAのえんがわ」

秋には、学生自らが企画や取材を行ったナセBA周辺のランチマップを全戸に配布する予定です。「私は学生が活発に活動するこのまちが好きです。今後も学生みんなで米沢を盛り上げていきます。市民の皆さんも学生に接し、米沢のことをもっともって教えてもらえればうれしいです」。学生たちが創る新しい米沢が生まれ始めています。

今年の春に  
街中に  
できました！

### まちなかBASEって？

東條ふれあいプラザ内にある学生の活動拠点「まちなかBASE（通称：まちBA）」。現在は7団体（Accel Link 米沢、アットストリート、まなびす、ドットジェイピー、MOT!、SCITAcen@米沢、Music Festival 実行委員会）が使用しています。



■住所／門東町3丁目3-39  
■問合せ／総合政策課若者支援担当 ☎ 22-5111

たかぎ さえ  
**高木 彩絵** さん

【Profile】福島県泉崎村出身の山形大学工学部4年生。議員インターンシップなどを行うドットジェイピーに所属する傍ら、自治会でも積極的に活動する。

